

「おでかけ号」をご利用ください

子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に乗っていただけるコミュニティバス「おでかけ号」の本格運行から1年が経ちました。今年度も、路線や運賃、発着時刻を変えずに運行します。皆様の積極的なご利用をお願いいたします。

コミュニティバス「おでかけ号」とは・・・

公共交通機関に恵まれていない地域を対象に、通院や買物など日常生活にかかる交通手段を確保する目的で平成18年10月から試験運行、平成19年4月から本格運行を行っています。

現在、市内15の路線で週一回の運行(曜日は路線により異なります)をしており、一部の路線を除いて旧町の中心部へ向かう下り2便と旧町の中心部を出発する上り1便があります。

運行時刻は、午前8時から午前9時の間に最初の下り便が出発し、上り便は午前11時30分から午後0時30分の間に発します。また、終点到着後下りの便が折り返し出発します。(ただし、「向田・浜陽線」は下り、上りともに1便のみの運行となっています。)

利用料金は片道1回の乗車につき100円(均一運賃)となっています。

なお、運行に関する注意事項等は折込の「運行時刻表」をご参照ください。

利用状況について

平成19年4月から平成20年3月までの一年間にのべ15,377人の方に利用していただきました。

始発の下りの便と上りの便の往復により算出した1便あたりの平均乗車数(各路線の片道1便に乗車した平均人数)は、武蔵町の松ヶ迫・小ヶ倉線の20.7人がもっとも多く、次いで向田・浜陽線の19.5人、赤松線の16.0人となっています。

15の路線の合計による平均乗車数は上半期のみを集計では10.1人でしたが、下半期のみでは9.8人とやや減少したため年間の平均乗車数は9.9人となりました。

なお、コミュニティバス「おでかけ号」の運行情報、利用状況については、国東市のホームページでも公表していますのでご覧ください。

利 用 者 の 声



高橋豊子さん、竹内英子さん

お名前 竹内英子^{ひでこ}さん(武蔵町手野)74歳 高橋豊子さん(武蔵町吉広)74歳

●コミュニティバスをどれくらい利用されていますか。

2週間に1度程度利用しています。今日は買物の為に利用しました。(竹内さん)

私も2週間に1度ほどです。今日は市役所と農協に行くために利用しました。(高橋さん)

●コミュニティバスの良いところは。

路線バスでは止まらないバス停に止まってくれるところです。また、バスの中で友人・知人とお話もでき、楽しいひと時を過ごしています。

●ご要望やご意見はありませんか。

農協に行くには後戻りしなくてはならないので、降車場所を増やしてほしいです。運行は週1回で満足しています。これからもコミュニティバスを続けてください。